



営農NEWS



促成キュウリ栽培で、褐斑病、べと病、コナジラミ類などの発生に注意し、防除を徹底しましょう

施設のキュウリ促成栽培では、昨年 12 月から年明けにかけて気温の高低が激しく、施設内の環境制御や肥培管理に苦労されていることと思います。この時期、施設内が多湿環境で経過すると、褐斑病やべと病などが発生しやすくなり、また、施設内が乾燥気味だと、うどんこ病が発生しやすい傾向になります。これらの病害は、葉裏や枝葉の込み合っている場所から発生しやすく、見逃していると、急激に進展することがあります。

病害虫発生予報 1 月号（病害虫防除所）によると、12 月中旬現在、キュウリ褐斑病の発生は平年並～やや多く、べと病は平年並で、害虫ではオンシツコナジラミがやや多い発生で、1 月中も継続すると予測しています。このため、今後とも適正な整枝、剪定作業や肥培管理を行うとともに、晴天の日をねらって農薬の予防散布に努め、更に、病害虫の早期発見と発生初期の的確な防除を徹底してください。

<防除のポイント>

- 1 施設内の過湿を防ぐため、除湿機の稼働や暖房機の送風、換気などに努め、適正な温湿度管理を行ってください。
- 2 株間の通風をよくする整枝や剪定、樹勢維持のための適切な灌水や追肥など、適正な栽培管理に努めてください。
- 3 株の下葉や葉の込み合っている部分の葉裏などを丁寧に観察して、病害虫の早期発見に努めます。
- 4 病害虫の発生を確認したら、早期に薬剤防除を行います。散布は十分量の薬液で、葉裏や下葉にもよくかかるよう丁寧にすることが重要で、夕方までには薬液が乾く時間帯に行ってください。なお、既に多発生した場合には、発病葉や茎などをできるだけ除去した後に行い、病患部に薬液が十分散布できるようにします。
- 5 薬剤耐性菌や抵抗性の出現抑制するため、同一分類（コード）の連続散布は避けてローテーション防除してください。

表 1 キュウリ褐斑病の主な防除薬剤

(令和 4 年 1 月 17 日現在)

薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	その他の対象病害	分類
ベンコゼブ（ジマンダイセン）水和剤 ※※	600 倍	収穫前日まで / 3 回以内	炭疽病、黒星病、べと病など	M3
ベルコートフロアブル	2,000 倍	収穫前日まで / 7 回以内	うどんこ病、灰色かび病、菌核病など	M7
セイビアーフロアブル 20	1,000 倍	収穫前日まで / 3 回以内	灰色かび病、菌核病	12
ダコニール 1000 ※	1,000 倍	収穫前日まで / 8 回以内	うどんこ病、灰色かび病、べと病など	M5
フルピカフロアブル	2,000～3,000 倍	収穫前日まで / 4 回以内	うどんこ病、灰色かび病	9
ゲッター水和剤	1,500 倍	収穫前日まで / 5 回以内	灰色かび病、菌核病、炭疽病	1 と 10

注 1) 表 1、2、3 の分類欄には、FRAC コードを記載しました（コードが 2 つは混合剤）。同一分類（コード）の連用は避けてください。

注 2) 表 1、2 の薬剤名欄※は有効成分 TPN、※※はマンゼブを含みます。総使用回数に注意してください。

表 2 キュウリべと病の主な防除薬剤

(令和 4 年 1 月 17 日現在)

薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	その他の対象病害	分類
プロポーズ顆粒水和剤 ※	1,000～1,500 倍	収穫前日まで / 3 回以内	うどんこ病、褐斑病、黒星病	40 と M5
ベンコゼブ（ジマンダイセン）水和剤 ※※	600～800 倍	収穫前日まで / 3 回以内	褐斑病、炭疽病、黒星病	M3
カーゼート PZ 水和剤 ※※	1,000～1,500 倍	収穫前日まで / 3 回以内		27 と M3
フェスティバル M 水和剤 ※※	750～1,000 倍	収穫前日まで / 3 回以内		40 と M3
ランマンフロアブル	1,000～2,000 倍	収穫前日まで / 4 回以内		21
ダコニール 1000 ※	1,000 倍	収穫前日まで / 8 回以内	うどんこ病、灰色かび病、褐斑病など	M5

表 3 キュウリ コナジラミ類の主な防除薬剤

(令和 4 年 1 月 17 日現在)

薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	その他の対象害虫	分類
ディアナ SC	2,500 倍	収穫前日まで / 2 回以内	アザミウマ類、ハモグリバエ類など	5
トランスファームフロアブル	1,000～2,000 倍	収穫前日まで / 2 回以内	アブラムシ類	4C
ベストガード水溶剤	1,000～2,000 倍	収穫前日まで / 3 回以内	アブラムシ類、ミナミキイロアザミウマ	4A
コロマイト乳剤	1,500 倍	収穫前日まで / 2 回以内	ハダニ類など	6
サンマイトフロアブル	1,000～1,500 倍	収穫前日まで / 2 回以内	アブラムシ類、ハダニ類など	21A
モベントフロアブル	2,000 倍	収穫前日まで / 3 回以内	アザミウマ類、アブラムシ類、ハダニ類	23
グレーシア乳剤	2,000 倍	収穫前日まで / 2 回以内	アザミウマ類、ハダニ類など	30
ベネビア OD	2,000 倍	収穫前日まで / 3 回以内	アザミウマ類、アブラムシ類など	28

農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。

※営農 NEWS は J A 全農いばらきホームページでもご覧になれます。



農機営農支援部 営農支援課

電話：029-291-1012 FAX：029-291-1040